

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月31日

計画の名称	美しい水環境を取り戻す水質浄化の推進 重点計画												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	掛川市												
計画の目標	水環境の改善推進により公有水面の水質浄化を図り、地球環境を守り豊かな自然と人が未来に向かって共生するまちづくりを進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,888	A	1,888	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	多くの市民が適切に下水を処理することにより、清潔な生活環境の確保と自然生態系が保全され美しい水環境が取り戻されるよう、下水道処理人口普及率を34%(H31)にする。 公共下水道の供用開始を公示した区域内の人口が行政人口に占める割合。 下水道処理人口普及率(%) = 処理人口(人) / 行政人口(人)	31%	33%	34%
2	効率性及び地域特性を考慮しながら計画的に下水道整備を進め、整備率を43%(H31)にする。 全体計画面積のうち、下水道整備が完了した区域の割合。 整備率(%) = 整備済み面積(?) / 全体計画面積(?)	39%	41%	43%
3	下水道総合地震対策計画の策定率を100%(H28)にする。 下水道総合地震対策計画を策定した処理区の割合。 策定率(%) = 総合地震対策計画策定済み処理区数 / 総合地震対策計画を策定すべき処理区数	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	管渠(汚水)	新設	掛川処理区管渠整備(未普及解消)	汚水管渠 200~500 L=7,420m	掛川市						1,151	-	
	A07-002	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	管渠(汚水)	新設	大東処理区管渠整備(未普及対策)	汚水管 200 L=1,716m	掛川市						189	-	
	A07-003	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	管渠(汚水)	新設	大須賀処理区管渠整備(未普及対策)	汚水管 200~400 L=2,760m	掛川市						450	-	
	A07-004	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	ポンプ場	新設	掛川処理区中継ポンプ場整備(未普及解消)	建屋1棟、ポンプ施設一式	掛川市						50	-	
	A07-005	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	管渠(汚水)	新設	下水道総合地震対策計画策定(地震対策)	地震対策計画策定	掛川市						20	-	
	A07-006	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	管渠(汚水)	新設	アクションプランの策定	調査・検討、策定	掛川市						2	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市	管渠(汚水)	新設	効率的な事業実施等のための基本的な下水道計画の見直し	調査・検討、計画策定	掛川市						26		-
											小計						1,888		
											合計						1,888		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 掛川市上下水道部下水道課にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年3月
	公表の方法 掛川市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	各処理区の下水道整備事業進捗により、下水道処理人口普及率が33%、下水道整備が完了した区域の割合が42%に増加し、より多くの市民が適切に下水を処理することにより、水環境の保全に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、次期整備計画に基づき下水道整備を行い、下水道処理人口普及率を向上させるため事業を推進していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公共下水道の供用開始を公示した区域内の人口が行政人口に占める割合	
	最終目標値	34%
	最終実績値	33%
大東処理区において、供用開始区域の人口が減少したことにより、普及率が減少したため。		
2	全体計画面積のうち、下水道整備が完了した区域の割合	
	最終目標値	43%
	最終実績値	42%
H30年度に全体計画の面積を拡大したことにより、下水道整備の進捗率が減少したため。		
3	下水道総合地震対策計画を策定した処理区の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%